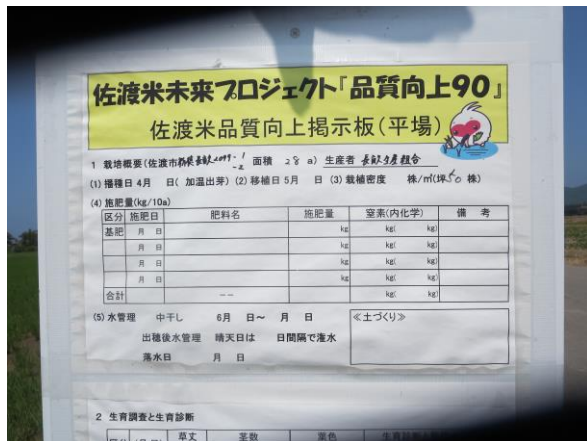


長畝ふるさと通信

【2015年6月号】

■ 雨降らない・・・雨降らない・・・



5月に続き6月も雨が降りません。「中干し」時期に入っているのに、それほど水不足の感じはありませんが、降るときに降ってもらわないと・・・お米への影響が心配です。

JA佐渡では「佐渡米未来プロジェクト・品質向上90」という取り組みを実施しています。島内に左写真のような看板を100カ所設置して地域の栽培指針となるような様々な情報を提供しています。定期的に生育調査をし、前年とのデータを比較しながら現地指導会など

も行っています。6月には苗丈・茎数・葉色などを測定し「中干し」や「溝切り」の時期についての指導会がありました。現時点の生育調査ではコシヒカリの生育は平年より3日程早く、順調とのこと。ちなみに「品質向上90」の「90」とは上位等級比率(1等米比率)90%を目標として取り組むという意味ですが、当組合ではすでに昨年90%以上を達成しています。とにかく雨降れ！

■ 中干し・溝切りは重要な仕事

田植え後の田んぼは水が張りっぱなしです。中干しは田んぼの水を抜くことによって地表を乾かし土中に酸素を供給し、根を活性化させるとともに、過剰な「分げつ」(苗株が大きくなること)で茎に養分が行きすぎて肝心の籾数が減ることを抑える効果があります。中干しのタイミングは一株の茎数が15～20本になった6月10日頃。一気に田んぼの水を落とし田面を露出させます。そして程良く乾いた頃を見計らって「溝切り」をしていきます。溝を切っておくと排水も給水もスムーズになり、今後の田んぼの水管理が容易になるのです。とは言っても田んぼの数は約500枚。30aの田んぼに少なくとも10本くらいは溝を切ります。畦草刈りと平行して毎日のように行いますが、何せ晴天続きで体力消耗もハンパ無く。日焼けで腕と鼻の頭は皮剥けて・・・。6月は1年で一番体力を使う月かも。



■ 今年も頼もしい？助っ人たち ありがたいことです



恒例のNPO「メダカの学校」草取りツアーは今年で11年目。無農薬栽培の田んぼの草取りに大勢駆けつけてくれます。デッキブラシもどきの器具を使って芽の出かけた雑草を掻き出してくれたり、腰をかがめて昔ながらの手取り除草をしてくれたり・・・「楽しい～、気持ちいい～」など僕らには信じられない言葉の連呼。ありがたいことです。

一方、東京農業大学の実習受け入れも9年目。こちらは無農薬栽培田んぼの「竹ぼうき除草」の様子です。初めて歩く田んぼでしかも後ろ手に変な器具を持たされ、引っ張るのですから大変です。体育会系兄ちゃんたちもさすがにアゴがあがってヒューヒューでした。彼らは5日間、草刈りや溝切りをみっちり体験して頂きました。多少酒代はかかりましたが、ありがたいことです。



■ こんな仕事もがつつりと

畦草刈りも田植え後から2周目。軽トラックには自走式草刈り機が2台、背負い式草刈り機が3台積んであります。雨が降らない分、草の伸び具合は遅いのですがそれでも雑草は強い。刈った後からすぐ生えてくる。5人がかりで集中して一気にやっつけていきます。でも半日で手がしびれてきて腰も痛い・・・きつい仕事です。



大豆も播種から一ヶ月が経ちました。除草剤は散布してありますが、やっぱり雑草は生えてきます。トラクターで畝立てをして雑草に土をかぶせ、退治していきます。それでもまた生えてくるのですが・・・。「雑草魂」とはよく言ったもので、感心しきりです。

■ 実況バージンフライ

6月10日頃、早朝の田んぼでは一斉にトンボの「羽化」が始まります。夜中にヤゴ達が申し合わせたように苗をよじ登り、5時頃その背中がぱっくりと割れ、中からトンボが出てきます。羽化したトンボは羽が乾くと朝日を浴びながら一斉に飛び立っていきます。これが「バージンフライ」。午前中は田んぼの溝切りの最中、羽化したばかりの無数のトンボが体当たりしてきます。そんな見慣れた光景に突如、初めて目にしたものは・・・



よく見る「赤とんぼ」の羽化現場



<6月18日 AM6:05>

いつものように田んぼへ「田守り」に出かけると給水栓の脇に見たこともない大きなトンボの羽化現場。その大きさはよく見る赤とんぼのその5倍はありました。「オニヤンマ」の羽化です。「バージンフライをこの目で見なければ」とじっと張り込み1時間。一向に動く気配なし。



<6月18日 AM9:10>

根負けして一旦退散し、2時間後に再度見に行ってみると・・・黄色い弱々しいボディは一変し、くっきりと虎模様になっておりました。それでも全く飛ぶ気配はなく、とうとうあきらめた次第です。それにしてもヤゴからは想像しがたいトンボの姿。長い尻尾や羽はどうやってしまっただろうか。

■ こんな奴らもいます



苗を切り裂くアメリカザリガニ



草刈り機で甲羅を傷つけられたクサガメ